

ウィスパーキューバス

2021 カオティックちくわ

//トラック1

SE:窓が開く音

SE:布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「こんばんは、お兄さん」

「あ、驚かせてごめんなさい。 そうですね、いきなり知らない女の子が布団の中に潜り込んでたら、びっくりしますよね」

「あたし、シアっていいいます。サキューバスなんですけど.....知ってますか？ えっちな悪魔です」

(耳に息をかける)

「ふー.....」

「ふふっ.....。今夜は、お兄さんの精子、いただきに来ました」

「大丈夫ですよ。お兄さんは何もなくていいんです。あたしに身体をゆだねて、ごろーんって、お寝んねしててくださいね」

「ウィスパー ロリ サキューバスのシアがたーくさん、気持ちよくしてあげますから.....」

「まずは.....お兄さんのおちんぼ、見せてくださいね♡」

SE:服を脱がす音

「ふーん.....うふふ.....お兄さんのおちんぼってこういう感じなんですね。あたしの一番好きなタイプかも、です。楽しみ.....」

「ん、しょ.....あ.....熱いです.....手の中で、脈打って.....♡」

「このくらいで握るの、痛くないですか？ じゃあ、ゆっくり.....動かしますね。下から.....上.....今度は、上から.....下.....」

「あっ、おちんぼビクンッてしました.....だんだん、勃起してきましたね.....。ゆっくり.....撫で上げると、ゆっくり.....下げるの.....うふふ、どっちが好きか、わかりやすいですね、おちんぼ素直で.....感じやすく.....可愛いです」

「さあ、また根本から.....ふふ、また少し大きくなりましたね.....カリも、さっきより張ってます。亀頭は.....後でいっぱい触ってあげます。今はこのまま.....下へ.....」

「まだ、完勃ちじゃないのに.....あたしの手だと、太いところ、指が回らないかも.....やっぱり、あたし好みのおちんぼ.....素敵.....はあ.....美味しそう.....」

「ん.....少し、手の角度変えますね。ほら、こうすると、裏筋.....気持ちいいでしょう？」

「手、このまま少し早くしますね.....裏筋刺激しながら、竿コシコシしますよ.....」

「ん.....んうつ.....んっ.....はあ.....うふふ、おちんぼ、また硬くなってますね.....素直なおちんぼは好

きですよ……♡」

「初対面なのに、おちんぼ好き勝手されて……こんなに感じちゃうなんて……お兄さん、とっても変態さんです♡」

「変・態・さん♡ じゃあ次は……亀頭をいっぱいイジめちゃいます。くびれのところに指を回して……このまま亀頭を優しく撫でて……カリはキュッと締めて……あ♡ 声、出ますよ？ これ、好きなんですね……じゃあ、もっとしてあげますね……しこ、しこ……しこ、しこ……いっぱい、いっぱい気持ちよくなっちゃえ♡ しこ、しこ……しこ……しこ……」

「ん……あ……見てください……お兄さんの先走りで、あたしの手、ヌルヌルです♡……ふふふ、こんなちっちゃなロリサキュバスに好き放題されちゃって、恥ずかしいですよ」

「でも、それでいいんです♡ お兄さんのみっともないところ……あたしが全部受け入れてあげます。その代わり……まだ、射精しないでくださいね」

「お兄さん、すごく可愛いから……キスしたくなっちゃいました。ね、キスしましょう？ 歯も、上顎も、舌も、ぜーんぶ、しゃぶりつくしたいんです♡」

「その間も、ずっと亀頭責め続けますけど……絶対に、出しちゃダメ。我慢すればするほど、後ですごくよくなりますから……あたしがいいって言うまで、絶対に射精しないでくださいね」

(キス)

「ちゅ……くちゅ……ちゅぱ……ふふ……不満そうな顔……いつ舌入れるかは、あたしが決めます……ふふっ……そんなに辛そうな顔しても、ダメです……絶対にイっちゃダメ……」

「ちゅう……ん、ちゅ……腰ヒクヒクさせて、必死に我慢してる……♡ 可愛い♡ いいこですね。それなら、ご褒美あげます……」

(ディープキス)

「じゅぷ、じゅるるる……！ ちゅぷ、くちゅ、じゅぷ、じゅるるるる！ くちゅくちゅくちゅ、んはあ、んむっ、じゅるるる……ぷはあ！」

「はあ……舌も、唾液もぜんぶ美味しい……こんなの……キス、止められなくなります……」

(ディープキス)

「ちゅぷ、じゅぷぷっ、くちゅくちゅ、んむっ、じゅぷぷっ、じゅるるるるるっ、んむっ、くちゅくちゅ……ぷはあ、ああ……っ！」

(キスしながら)

「ちゅ……ねえ……空いてる手、繋ぎましょう？ あ……お兄さんの手、大きい……指絡めて……」

(ディープキス)

「んむっ、んんんんんんんっ……！ はあっ、じゅぷっ、じゅるるるるるっ……！ んむっ、手、こっちへ……ああんっ！」

(キスしながら)

「ほら、ちゅっ、生おっぱい、触ってください。ちゅっ、あたしのおっぱい……ちゅっ……お兄さんの好きにして、いいですよ……？ は、ああっ、ふふっ、おっぱい好きなんですね？ ちゅっ……はあ……ん……揉むのも、乳首いじるのも上手いんですね……気持ちいいです……」

「んうっ……あっ……！ それ……感じますうっ……！ うふふ……もっと強くてもいいんですよ？ あたし……激しくされるの好きなんです……あっ、あああっ……いい、いいですう……はあ……はあ……キス……キスしましょう……」

(キスしながら)

「ちゅ……ちゅぱ……あっ、こらあ……！ そんな風に腰動かして、射精するつもりでしょう。ダメですよ。まだ我慢して、出来るでしょう？ ちゅ……ちゅぷ……」

(キスしながら)

「ん……お兄さんの、精子は……ちゅぷ……あたしのナカに全部出してもらいますから……ちゅ……それまで我慢して……出来ますよね？」

(耳に息をかける)

「ふー……このパンパンのおちんぼ挿れるの、あたしも楽しみなんです。亀頭の大きさも、竿の太さも張りも、そり方も、長さも全部あたしの理想……」

(耳に息をかける)

「ふー……うふふ、すごい反応……おちんぼが切なそうにヒクついちゃってますね♡」

「はあん……楽しみ……焦らして焦らして、限界まで溜め込んだ濃厚ザーメン、子宮にナカ出しされたら……きっとあたし、壊れちゃいますね……♡」

「ほら……お兄さん、おまんこ、触ってみてください……ん、あっ……♡ 今、聞えました……？ ぬちゅつて……おちんぼ欲しくて……お汁が溢れちゃってるんです……」

「でもお……あたしのおまんこ……キツキツで、おちんぼ全部入るか分からないから……指で、ほぐしてくれませんか……？」

「ん……あ、そう、そこです……あ、指、入って……男の人のゴツゴツした指……はあん♡」

「あっ……！ お兄さんの指、二本……入ってる……ん……くう……やっぱり……長くて……気持ちいい……！！」

「はあ……そこ……ぐりぐりされるの好き……んあっ、そう、お兄さん凄い、上手い……！ はあ、そのまま、指、してえ……」

「あっ……ああっ……いい……ああっ、やあん……えっちな音、いっぱい聞かれちゃう……♡」

「あっ……我慢汁、濃くなってますよ……セックスしたくて、おちんぼイライラしちゃってるんですね……♡ もう少しの辛抱ですよ……頑張れ♡ おちんぼ頑張れ♡ ふふ、偉いですね……ご褒美のキス……またあげちゃいます……」

(ディープキス)

「んむうつ、ちゅむつ、じゅぷつ、じゅるるるる……！ はあっ、んうつ、じゅぷぷつ、れるるるる……！ んうつ……あへえ、指、上手すぎですう……んむ、じゅぷぷ……はあ……気持ちいい……んちゅ、ちゅるるる……はふう……ん……」

「はあ……はあ……もう……奥まで指……入って……ん、あっ……はあん……」

「……ふふ、気付いてますか？ 今、お兄さんの目、すっごくギラギラしてます……目の前のロリサキュバスを、おちんぼで凌辱したくて仕方ないって、顔に出ちゃってます……精子が欲しいだけの行きずりセックスに本気になっちゃってるんですね……♡ 本当に可愛いです……♡」

「でも駄目……これは捕食行為なんですから。お兄さんに決定権はありません……♡」

「お兄さんはただごろーんってしてればいいんです……あたしのサキュバスまんこで、騎乗位膣コキ、しちゃいますから……」

//水音SE:声に合わせて「ちゅぷ...にゆるる...」とゆっくり入っていくイメージで

「はうっ.....！ 先っぽ.....んふう.....全部入ったら.....あたし、どうなっちゃうんだろう.....はあ.....楽しみ.....」

「挿れます、ね.....あ.....あふっ.....ああああっ.....！」

「う.....そ.....先っぽ入った、だけなのにい.....あ.....が子宮まで疼いちゃう.....な.....なにこれえ.....！」

//水音SE:声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「は.....はあ.....んう.....はあ.....ああ.....入って.....くるう.....ああ.....くうん.....あはあ.....！
は、はあ.....入った部分、絡み付く、はあ.....おちんぼ欲しがり過ぎて.....んう.....もう、もう気持ちいい.....！！」

//水音SE:声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「は、やあ、ああっ、ちよとずつ、味わおうとしたのに.....♡ 腰が勝手に動いちゃう.....！ いきなり、奥まで.....ん、んうう.....あふっ、あああつ、気持ちいいつ、ああつ、はあつ、全部入っちゃう.....！」

//水音SE:声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「ああああああんっ.....！ くう.....！」

「あっ.....は.....挿れただけで、イキそうになりました.....はあ.....思った通り.....このおちんぼ、大好き.....膣壁がぴったり吸い付いちゃうてるの.....わかりますよね.....♡」

//水音SE:ゆっくり動く

「んあっ.....ふふっ、やっぱり、腰が勝手に動いちゃう.....こんなの初めて.....サキュバスなのに.....人間のおちんぼに負けちゃいそうです.....♡ すごいです、お兄さんのおちんぼ.....世界一カッコよくて、気持ちいい.....♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「あたしも、本気になっちゃいます.....♡ 行きずりおちんぼに.....ガツガツ腰振っちゃう.....♡ はあ、あ、あっ.....そこ、奥の、イボイボしたとこ.....カリに、引っかかってえ.....ひああっ♡ あ、あつ、んんっ.....ダメ、これ、ダメですっ、いくまで、止まんないっ.....」

「散々お兄さんのこと、我慢させたのに.....いっぱい気持ちよくなっちゃって、ごめんなさい.....♡ でも、お兄さんが悪いんですよ、こんな立派なおちんぼ、持ってるから.....ああ、あつ.....これ、すごっ.....あ、あうっ♡ おまんこの形、変わっちゃいますっ.....♡」

「すんすん.....ん、んあ♡ はああ、ヤバいです.....汗のにおいも、好きかも.....好みの体臭してます.....ますます、手放せなくなっちゃう.....はああっ、お兄さん、お兄さんっ.....もっ、もっとお.....あ、あう、やあん.....♡」

「んああ.....あ、中で、ビクビクして.....お兄さんも、気持ちいいんだ.....♡ あたしたち、相性ぴったりですね.....違う生き物なのに.....♡ きっとお兄さん、あたしとセックスするために生まれてきたんですよ.....じゃなきゃ、こんなに気持ちいの、説明がつきませんっ.....はああ♡」

「ほら、もっと声、出してください.....気持ちいい、気持ちいいよお、って.....女の子みたいに喘いじゃっていいんですよ.....お兄さんの可愛い声、いっぱい聞かせて.....？ 二人して、バカになりましょう？.....下品で、ケダモノみたいなセックスに、溺れたいですよ.....♡」

(耳に息をかける)

「ふー.....んう.....はあ.....耳、好きなんですね.....凄い反応.....♡ おまんこ越しに、お兄さんが気持ちよくてたまらないって、伝わってきますよ.....」

「ふー.....ふー.....ふー——.....」

「バカになっちゃえ.....♡ 欲望に素直になっちゃえ.....♡ お兄さんは、おちんぼセックスの事しか考えられない.....わるーい雄ですよ.....♡」

「あぁっ.....んんんっ♡ また、中でおつきくなりましたぁ.....♡ 素直なお兄さんには、特別なご褒美.....♡ 行きずりのロリサキュバスに、無責任中出し射精.....しちゃってください.....♡」

//水音SE:ラストスパート

「あっ！ あんっ！ ああんっ！ んうっ！ あぁっ！ ねえ、わかりますか？ 子宮口、たくさんゴツゴツされて.....♡さつきから、赤ちゃん部屋が、お兄さんの精子、おねだりしてるんですよ.....♡ きゅう、きゅううって.....はぁあ、あっ.....んあ、あ、んぐっ.....」

(耳舐め)

「ん.....くちゅ.....れるるるるる.....んんうっ！ はあ.....お兄さん.....んう.....ね.....耳と.....乳首と.....おちんぼ.....ぜーんぶ愛してあげます.....くちゅくちゅ.....じゅるるるっ！」

「はあ.....あぁ.....だから.....だからぁ.....全部くださいね.....ドロドロの濃厚ザーメン.....一滴残らず.....あたしの、おまんこにい.....♡」

「んっ、んっ、んあぁっ、あぁっ、はあ、あぁっ、んううっ、おちんちん、苦しそう..... はぁっ、あぁっ.....もう、出ちゃうんですね、大きな声で言えて偉いですう、はあ.....あぁ.....」

(耳舐め)

「んふう.....ぐちゅ.....じゅるるるるっ.....！ はあ.....あぁ.....出して.....？ イって♡ 思いっきり、射精してください.....♡ んう.....はあ.....ちゅ.....んう.....あぁあっ！ あたしもう.....もうイク.....！」

(絶頂)

「ああああああああああああああんっ.....！！」

「あああっ、出てるうっ！ 精子.....凄いつ、あああんっ、熱い.....子宮に入って.....んああああんっ.....！」

//SE:水音終了

「はあ.....はあ.....ん.....や.....隙間から、精液.....溢れちゃってます.....いっぱい溜め込んでたんですね.....はあ.....こんなに濃ゆいの、初めてです.....子宮に染みて.....んん、美味しい.....♡」

(耳にキス)

「ちゅ.....お兄さんも、おちんぼさんも、お疲れ様.....ゆっくり、休んでくださいね」

「はい、あたしはそろそろお暇しようかと.....今日のはあくまで、行きずりの、捕食行為を伴ったセックス

ですし」

「これは全部、悪い夢……キレイさっぱり忘れて……ううん、それはさすがに無理か……」

「だってこんなに気持ちいいセックス、忘れられるわけないですよね……♡」

「だから、たまーに思い出して、オナニーのオカズにしていんですよ♡」

「あたしも、とっても良い思い出として、胸に閉まっておきます♡」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「それでは……ごちそうさまでした」

「おやすみなさい、お兄さん……良い夢を見てくださいね」

SE: 窓が開く音

//トラック2

SE:窓が開く音

SE:布団の中で身動ぐごそごそ言う音

(耳に息をかける)

「ふー……ふふっ。

こんばんは、お兄さん。また来ちゃいました」

「あ、嬉しそうな顔してる♡ そんなにあたしが恋しかったんですか？」

「ふふ、実はあたしもです。……あ、これでも一応、同じ男性には二度夜這いしない主義なんですよ？」

SE:服を脱がす音

「深い関係になると、色々面倒じゃないですか……でも、お兄さんの精子が、どうしても忘れられなくて……♡」

「だから今夜も、お兄さんの極上ザーメン、お腹いっぱい食べさせてくださいね」

「勿論、ただでとは言いません。前よりもっと、気持ちよーく、させてあげますから♡」

「まずはあ……再会の証に、いっぱいイチャイチャして、ラブラブなキス、しちゃいましょう？」

(ディープキス)

「んちゅ……ん、れろ……ちゅー……はああ……久しぶりの、お兄さんの唾液……頭、くらくらしちゃいそう……ん、ちゅ……ん、んんっ……あ……しゅご……こく……こくっ……」

「ん、ぷは……はあ……キスだけで、子宮がキュンキュンしちゃいました……♡ あたしの身体……どンドン、お兄さん色に染められちゃってますね……」

「……あ、お兄さんも大きくなってます♡ ちょっとキスしただけなのに、バキバキに勃起しちゃって……わるーい雄ですね♡」

(キス)

「ほら、舌出して……べえー、べえー、って。そうそう♡ ワンちゃんみたいで可愛いですよ♡ 今からお兄さんの舌、フェラチオしちゃいます♡」

(舌を吸いながら)

「ちゅるっ……んう……やっぱり……ちゅく……お兄さんの舌、美味しい……ん……ちゅる……こうして舐めてるだけで……ちゅるっ……んう……おまんこ、濡れちゃいます……♡」

(ディープキス)

「じゅるるる.....んう.....じゅぷじゅぷ.....んむっ.....じゅるるるっ.....くうん.....んう.....じゅるじゅる.....はあっ！ んう.....」

（舌を絡めたまま）

「やっぱひ.....お兄さんのキス.....きもちひいれふう.....もっと.....」

（ディープキス）

「んむう.....じゅるるるっ.....んふうん.....じゅくじゅく.....んう.....はあ.....」

（舌を絡めたまま）

「んう.....もっと唾、飲みたい.....お兄さん、今からごつくんしちゃだめですよ.....全部あたしに飲ませてください.....♡」

（ディープキス）

「ちゅむっ.....ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ.....じゅるるるっ.....んむ.....ちゅるるっ.....んふう.....んむ.....じゅるるるっ.....」

（嚥下）

「ごくっ.....はあ.....美味しい.....♡」

「ふふっ、お口の周り唾液でベタベタになってますよ.....赤ちゃんみたいですねえ.....。よちよーち、全部ぺろぺろして、綺麗にしてあげまちゅからねー.....」

（舐めながら）

「ぺろ.....ん.....ふふっ.....こんなに零してえ.....んむっ.....ぺろぺろ.....耳の方まで.....」

（耳に息をかける）

「ふー.....」

「うふふ、ビクってしましたね。やっぱり、耳、弱いんですね。あたしも.....耳責めるの、好きです」

（耳舐め）

「れるれるれる.....ちゅ.....ちゅむ.....じゅるるる.....」

（耳に息をかける）

「ふー.....はあ.....」

「うふふ、すごく勃起してますね.....熱くて、硬くて.....はあ.....やっぱり、最高.....。これがおまんこに入って、あたしをメチャクチャにしたんですよ.....？」

SE:布団の中で身動ぐごそそ言う音

「ん.....あ.....わかりますか？ おちんぼの先っぽ、あたしのお臍の下に当ててるんですけど.....。この辺りに、子宮口があるんです♡ すごいですよね。こんなところまでおちんぼ届いちゃってたんですよ？ 子宮口ぐいぐい押されて、直接精液入って来て.....気持ち良すぎて、頭おかし

くなりそうでした……ん……思い出したら……ムズムズして……ふふっ、んう……やあん、はしたないお汁が……零れて来ちゃいました……♡」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「このヌルヌルで、おちんぽゴシゴシしたら、きっと気持ちいですよね……？」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「はあ……あ……んんっ、割れ目越し、なのに……熱いの、伝わって……んっ、あ……どう、ですかあ……ロリサキュバスのスマタ……気持ちいい、ですよ……♡」

「……はあ……ん……硬いおちんぽで、クリトリス擦るの気持ちいい……腰、止まらないです……」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「お兄さんも……早く……挿れたいですよ……♡ でも……今日はその前に……特別サービスしちやいます……♡」

「サキュバスでしか出来ない、気持ちいいこと、知りたいですよ……？」

「お兄さん、見てください。あたしのしっぽ……うふふ……実は……先っぽがくぱあって割れるんです。……ほら、中はイボイボになって……お兄さんたちがオナニーでよく使う、オナホール、みたいになってるでしょう？」

「あたしたちウィスパーキュバスは、しっぽで精液を絞り取る事が出来ちゃうんです♡」

「それじゃあ……行きますよ？ しっぽフェラ、堪能してくださいね♡」

//水音SE: 声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「んああっ……！ これが……サキュバスのご奉仕です。人間の女には出来ない、しっぽフェラ……んうっ……はあ……おちんぽ……おっきい……しっぽ裂けちゃいそう……気持ちいい……！」

「ふふ、ごめんなさい……♡あたし、しっぽが性感帯なので……いっぱい声でちゃうかも……」

//水音SE: 声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「ん、あ……あたしのしっぽの中……みたいにヒダがあって……ヌルヌルして……きゅうっとおちんぽ全部絡めとられてる、みたいでしょう……？ 手コキとか、オナホじゃ、もう満足できないですよ……♡」

//水音SE: ゆっくり動く

「それに……尻尾でフェラしながら、お兄さんのタマタマとか……お尻の穴とか、ペロペロ出来ちゃうんですよ……ほら……れろ……れろお……んんっ……玉の裏、すごおい匂い……射精を我慢してる雄の匂いだ……これ、大好き……癖になっちゃいます……すんすん……はあ……れろ、んちゅ、ちゅう……」

「たま……お口の中で、しゃぶっちゃいますね……んちゅ、はむ……ん、んう……ふにやふにやで……やわらかくて……おいひい……ここで、濃厚ざーめん、つくってるんれふね……じゃあ、いっぱいよちよちしてあげないと……♡」

「んちゅ……ちゅう……れろ、よひよひ……金玉さん、可愛いれふよ……ちゅ、ん、はむ……」

「んちゅ、れろ……はむ、ん……んう……尻尾フェラと玉舐めの……同時責め、ろう、りえふかあ……？　こんなの、人間の女じゃ、絶対にできないれふよ？……ん、ちゅ……はむ……ぷは……」

「これで分かりましたよね、お兄さんを満足させられるのは、サキュバスのあたしだけって……」

「だからお兄さんも……これからは、精子の無駄撃ちは止めましょう？　ね？　オナニーも、人間の女とのセックスも、もったいないですよ……♡」

「全部、あたしにブチまけちゃえばいいんですよ……♡　ほら、今度は尻尾フェラしながら、根本を舐め舐めしちゃいます……」

「ちゅう……れろ……れろ……はあ……やっぱり、おちんぽが一番おいしいかも……♡　ちゅ、ん……あ……」

「んうっ……はあ……はあ……尻尾の中で……おちんちん、暴れてますね……♡　んうっ……おちんぽ、ドクドクしてる……熱くて……はあ……感じちゃう……！」

「はむ……ちゅ……ちゅう……お兄さん……また怖い顔してる……セックスしたくなっちゃいました……そうですね、こんな気持ちいい事されたら、おまんこでゴシゴシしたくなっちゃいますもんね……♡」

「でも……あたし、ちょっと楽しくなってきちゃったので……もう少しだけ、楽しませてくださいね♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「尻尾をお……締めて、捻りながら、上から下までジュポジュポして……舌でも……ペロ…ペロ………！　んうっ……はあ……」

「んんっ♡　脈うってる……精子が、込み上げて来ますね……どこにビューってしたいですか……？　やっぱり、おまんこのいちばん奥ですか……？」

「ん～～……じゃあ、こうしましょう」

「恥ずかしげもなく、大きな声で叫んでください」

「可愛い可愛いロリサキュバスのシアちゃんと、おまんこセックスがしたいです、って♡」

「お兄さんのおちんぽは、あたし専用の精子サーバーです、って♡」

「もちろん、あたしがお兄さんを使うかどうかはその時の気分ですけど……♡」

「でもお兄さんは……、もう、あたしじゃなきゃ、満足できないでしょう？♡」

「ほーら、意地張ってないで……おまんこセックス♡ おまんこセックス♡」

「……ふふ、良く言えましたね、偉いですよ、お兄さん、とっても男らしいです♡ じゃあ、お待ちかねの……ロリサキュバスまんこ……たっぷり、召し上がれ♡」

//水音SE: 声に合わせて「ちゅぷ…にゆるる…」とゆっくり入っていくイメージで

「はうっ……ああああっ……前より、太くなってますよ♡……あっ……んうっ……すご、い……ああっ……一気に……来ちゃう……♡」

//水音SE: 声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「わかりますか……♡ 前よりもすんなり、おまんこが、おちんぽの形になってえ……はあっ……精液のおねだりしちゃってます♡……ん、あ……んう、ああああっ……！」

//水音SE: スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「んあ、あっ、あ、これ、ヤバいですっ♡ あふっ♡ ガマンとか、無理ですっ♡ 腰、バカになっちゃいましたっ♡ とまんない♡ お兄さんも、いっぱい下から、突き上げてくださいつ♡ 遠慮なんていないですっ、ロリサキュバス、滅茶苦茶にレイプして♡」

「ああ、いい♡ 良すぎる♡ はあっ……♡ だめ♡ 腰、もっと激しくなっちゃううっ！ 止められないっ！ ふあああ♡ 先っぽが奥のいいとこ擦ってから♡ 子宮口コツンコツンするううっ♡ おまんこ全部ちんこで擦れて♡ いい♡ いいですう♡」

「あふう♡ 凄い音♡ お汁溢れて止まらない♡ おちんぽすごすぎて、おまんこ壊れちゃったあ♡ でもいいです♡ 壊して♡ あたしのこ壊してください♡ こんな気持ちいいセックス出来るなら、なんでもいいですう♡」

「はああ、あ、キス、キスしたいですっ、お兄さんと全部、繋がってたい……早く、ちゅ一つて、ちゅ一つてしましょ？ はあ、あ、ああん♡」

(ディープキス)

「じゅるるっ……じゅるるっ……じゅぷじゅぷじゅぷ……れるるるっ！ んんん♡」

「ぷはあ♡ これしゅごいい♡ おまんこ締まっちゃう♡ もう一回……ねえ、舌もっと入れて♡ もっとベロベロチューしよ♡」

(ディープキス)

「じゅぷぷっ……んふふっ……んうっ……んんんう……じゅるるるるっ！」

「はぁ♡ おちんぽでおまんこギュウギュウにして♡ グチャグチャの汚いキスするの最高です♡」

「あ、あんっ、嬉しいですよ♡ お兄さん、あたしがきもちいいこと、沢山してくれて……はぁあ、あ♡ お礼にお兄さんのだーい好きなお耳も、滅茶苦茶にしますね♡」

(耳舐め)

「じゅるる……れるれるれる……ちゅ♡ ちゅ♡ じゅぷっ、れるれるれる……はぁ♡ ちゅっ♡」

「は……あ……ああん♡ ちんこビクビクしてる♡ ああ♡ 出そう？ 出そうですね？ 早く出して♡ はやく♡ ねえ♡」

「じゅる……じゅる、ちゅぱ、はむ、れろ、早く、精液ください♡おまんこの奥が、切なくて苦しいんですよ♡」

「はうん♡ ねえ♡ ねえ♡ んうっ♡ お兄さんのバキバキちんぽ♡ 根本から先端まで♡ 全部♡ おまんこでしごいてあげますから♡ んう♡ ねえ、わかるでしょ♡ 先端が子宮口こじ開けちゃってます♡ 精子、精子が欲しいんですよ♡ はやく♡ はやくせいしびゅっびゅして♡」

「女の子の秘密の部屋に♡ 直接お注射して♡ 孕ませ射精して♡ んう♡ ああん♡ ねえ♡ あたし頑張りますからあ♡ いっぱい気持ちよくしますからあ♡ ご褒美射精してください♡」

//水音SE:ラストスパート

「はぁ♡ ああ♡ ちんこすごすぎ♡ 熱くて♡ 硬くて♡ 強い♡ 全部、ゴリュゴリュ擦れる♡ ゴツゴツ当たる♡ はぁ♡ 強すぎちんぽで♡ おまんこ壊れる♡ 壊れちゃう♡ はあん♡」

「あああんっ♡ サキュバスなのに♡ 人間ちんぽに負ける♡ 負けてる♡ ちんぽに支配される♡ はあん♡ 好き好き好き♡ このおちんぽ大好き、大好きなの♡」

「ああ……♡ 出るんですね♡ おちんぽブルブルしてる♡ くる♡ 精液くる♡ あっ、ああああんっ、あっ、あああっ、あたしも、もうだめっ、イク、イク、すごいいっちゃう……んんう……♡」

(絶頂)

//SE:水音終了

「はぁあああああああ♡」

「んあ、あ……あはぁ♡ 熱い……精子い……♡ 子宮に直接……ビュクビュク入ってくる♡」

「あ、やっ、うそ……精子で、射精でいっちゃ……んあああああっ！ はあっ！ はぁあ……あ、あう……おまんこ、イグの止まらな……あ、はぁあ……♡」

「はあ———……はあ———……あ……う……うまく……呼吸、できません……♡ 本当に……お兄さんに……こわ、されちゃいましたね……ふふ……ん、んう……」

「んう……分かりますか……まだ、痙攣が止まらなくて……あ、ダメです……♡
まだ、抜いちゃ……余韻を、味わいたいので……ん……う……♡」

「はあ……はあ……もう……今日はもう、一歩も動けません……♡」

「すごいです……お兄さん♡ 都合のいい、精子サーバーになってもらうつもりが……
たくさん……わから、されちゃいました……♡」

「あたし、お兄さんのおちんぽには……勝てそうに、ないです……♡」

「もう……頭もくらくらで……限界……かも……です……」

「少しだけ……休ませてください……」

「……んん、お兄さんの身体、大きい……安心、します……」

「ふふ……負けたのが……あなたで良かった……」

「すう……すう……」

//トラック3

SE:窓が開く音

SE:布団の中で身動ぐごそごそ言う音

(耳に息をかける)

「ふー……ふふ♡ こんばんは、お兄さん。今日も来てしまいました」

「あなたの可愛いウィスパーロリサキュバス、シアですよ♡」

(耳にキス)

「ちゅっ……はあ……ふふっ。会いたかったです。お兄さんは？ あたしのこと……考えました？」

「あたしは考えてましたよ。どこにいても……なにしても……またお兄さんの極上精子食べたい♡ とか、ぶっといちんこに内側からみちみちっておまんこ広げられたい♡ とか……ずっと考えて……」

(キス)

「ちゅっ……待ちきれなくて……一人でえっちなこといっぱいしちゃいました。ちゅ……。お兄さんは？ あたしのこと思い出して、オナニーとか、してないですよ？」

「あたしの為に、精子取っといてくれましたよね♡」

(キス)

「うふふ……嬉しいです……ちゅ……んう……ちゅ……はあ……うふふ……ちゅっ……ちゅ……」

SE:服を脱がす音

(キス)

「ちゅっ……はあ……今日はどうしようかな……まずはお兄さんに脱ぎ脱ぎしてもらってえ……そうだ、乳首、イジめちゃいますね♡」

(乳首責め)

「ちゅ……ちゅう……んちゅ……あ、勃起してきました……♡」

「お兄さんの乳首、可愛いです。ぺろっ、ちゅっ、ふふっ、その反応も可愛い♡ 乳首責められて、喘いじゃって……女の子みたいです♡ うふふ、きゅんきゅんします♡ ちゅっ、ちゅぱっ、ちゅくちゅく……」

「あ……当たってますよ♡ 勃起ちんぽ♡ もうこんな硬くして……は・や・す・ぎ♡」

「ほら♡ 股間がテント張ってますよ♡ じゃーあ、下も脱ぎ脱ぎしましょうね♡」

SE:服を脱がす音

「きゃっ♡ おちんぽブルンって出てきましたね……♡」

「お兄さん、見て。ほら、あたしのしっぽおまんこ……もうこんなに濡れてるんですう……また、しっぽフェラしてあげますね。これ、好きでしょう？」

//水音SE:声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「んふ♡ しっぽの入り口で、先端をぐぼぐぼしますね……こういうの、好きですよ？ お兄さん、亀頭弱いですよ。ほら、先端ずぶずぶ飲んで……入り口で亀頭をしごきながらギリギリまで引き抜いて……また飲みますよ……うふふ♡ はあ……ん……しっぽのえっちな汁で、先っぽヌルヌルになってく……♡」

//水音SE:ゆっくり動く

(キス)

「うふふ♡ 亀頭ジュボジュボしながら、鈴口ベロベロしちゃいますね♡ お兄さん、顔はこっち向いて……ふふっ、こっちでもベロベロしましょう♡ キスしながらフェラは、人間の女には出来ないから……」

(ディープキス)

「ちゅるるるっ、じゅるっ、ちゅぱっ、んはあ、んむっ、ちゅるるっ、じゅるる……んうっ……」

(キスしながら)

「ちゅぱっ、どうですか？ んむっ……じゅるる……おちんぼ全部……しっぽの奥まで挿れますねえ……ちゅっ……」

「あっ、ああああっ♡ やらっ、やらあっ♡ 感じる、感じちゃいますうっ♡ ああ♡ しっぽおまんこが♡ おちんぼに、ピッタリ吸い付いて……ああっ♡」

「あ、お兄さん……そろそろイきたいんですね？」

「ふふ、お兄さんのおちんぼの事なら、何でもお見通しですよ？」

「例えば今はあ……いっぱいキスされながら、びゅびゅ～って尻尾の中に精子を出したいんですよ？」

「まずは……ほっぺに……ちゅ……ん、ちゅう……」

「唇も……ちゅ、んん、ちゅう……ちゅ、れろ、はむ……」

「……あ、その顔♡……お耳にもしてほしいんですね……？♡」

(耳にキス)

「ちゅっ、れるっ、はむっ、じゅるるっ……ふふっ、声、出ちゃってますよ……可愛い……ちゅう……れろ、んじゅ、ちゅるる……はむ、れろお……」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「尻尾フェラしながらあ……お耳ちゅっちゅされるの、気持ちいいですよ♥ いっぱい感じちゃってください♥」

(耳にキス)

「じゅる……ちゅう……じゅる……ちゅ……はむ……あ、尻尾の中で、ビクビクって……はあ……あたしも、いっぱい、気持ちいいですっ……♥」

(耳舐め)

//SE:水音終了

「はあ……あ……もう、いいですよ……？ たくさん、愛撫したので……おちんぼ、入れちゃいましょう……？」

「……ふふ、実はこのところずっと、お兄さんの精子しか飲んでないんです……だから、お腹ペコペコで……すっごく、ムラムラしちゃって……」

「もう、焦らすのとか、我慢させるのとか……あたしが無理なんです……♥」

「だから……お願いします♥ あたしのおまんこ、思いきりほじくりまわして、赤ちゃんのお部屋に、種付けしてください……♥」

//水音SE:声に合わせて水音をにゆる、にゆるにゆると挿入

「うああ……♥ ちんこ来……たあ♥ きたあ♥ んお……しゅき……極太ちんぼ……しゅきい……♥ 太すぎい……みちみちいってるう……おまんこ壊れそお……♥ はあん……最高♥ おまんこ全部♥ ちんこが擦ってりゅう♥」

「お……おお♥ 届いた♥ おちんぼ子宮届いてますう♥ はあん♥ おちんぼがこちゅこちゅして……♥ いいです♥ きもちい♥ はあ♥ ああっ♥ 腰動いちゃう♥ サキュバスなのにい♥ メス本能に負ける♥ 負けちゃいますう♥」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「あ……あうっ……おちんぼ強いですっ♥ ごちゅごちゅってえ♥ ひあああんっ♥ 子宮こちゅこちゅされてるだけなのにい♥ 身体中に響く♥ ちんこ響くう♥ あふっ、あうっ、ああああっ……！」

//水音SE:ラストスパート

「やばいっ、これヤバいですっ♥ 腰止まんないっ♥ んううっ♥ おまんこ締まるう……♥ はうう♥ ああっ♥ お兄さんのちんこ好き♥ 好き♥ この中の子種欲しい♥ 他の精子なんてもう要らない♥ お兄さんの精子しか♥ ほしくないです♥ 他人ちんぼの精子なんか♥ はあ♥ しゅき♥ しゅきい♥」

「はあっ♡ これじゃ.....ただのメスです♡ 優秀オスちんぽに勝てません♡ ああん♡ あたひ♡ オスちんぽだいしゅきな、メス穴になっちゃいます♡ ひあああっ、あんっ、ああっ、きもちいい、あ、もっと、もっとお.....♡」

「あっ♡ あっ♡ もう、あたしのおまんこ♡ お兄さんの形ぴったりに♡ 作り替えられてるので♡ 全部♡ わかっちゃいます♡ おちんぽ、ドクドクって脈打って、精液が上がってきます♡ おちんぽ精液でパンパンになってますう♡ はあ♡ ちんぽ熱くて♡ 溶けちゃいそうです♡」

「はああん♡ 出して♡ 出してください♡ んう♡ あたしのおっぱいも♡ おまんこ全部♡ 好きにしたいので♡ 快楽成分たっぷりの♡ 大量精子♡ ください♡ ください♡ オスの極上ザーメン欲しがるメスに♡ タネ付けしてくだしゃい♡」

(ディープキス)

「キス.....キスしましょ.....んむっ.....じゅるるるるっ.....んああっ♡ あふっ♡ おっ♡ おおっ♡ ああっ、イグッ！ イグイグ.....お、おふっ.....」

//SE:水音終了

(絶頂)

「あ、あああああああああああっ.....！！」

「あへえ、せーし、せーしびゅっびゅ出てるう♡ あついせーし♡ んう♡ ドロドロお♡ あっ、あうっ♡ 多い♡ せーし多い♡ こんなに入らない♡ あふれちゃいます.....♡」

「はあ.....はあ.....ああ.....♡ しゅご.....しゅごかったです.....♡ もう、セックスしか考えられません.....」

「もっと.....もっとください、お兄さんの精子.....おかわり欲しいです.....♡」

「ちゅう.....ちゅ、れろ.....はむっ.....んんっ.....お兄さんも.....まだ、元気そうですね.....中でまた、硬くなってますよ.....♡」

「ふふ.....このまま、性欲の赴くまま互いを貪って、二人で気絶しちゃうくらい.....犯し合いましょ.....♡」

//水音SE:ゆっくり動く

「あっ♡ ああっ♡ ああん、すごいですっ♡ イったばかりなのに、もう、こんなに.....ガチガチで.....あ、はあ♡ はあ♡ あああっ♡ んう.....♡」

「は♡ はあ♡ 音すごい♡ ぐちゃぐちゃ、やらしい音してます♡ これ♡ あたしの愛液と、あなたの精液の音ですよ♡ まじりあって、凄い匂いがしてますね♡ 部屋中、セックスの匂いでいっぱいです♡ こんな匂いだら、発情しっぱなしです♡」

(耳舐め)

「ちゅるるるっ、じゅぱっ、じゅるるるっ……はあ♡ はあ♡ あああん♡ 届いた♡ ちんこ、奥来たあ♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「お、おああ♡ おっ♡ おうっ♡ おぐう♡ おぐっ、ちんこにゴンゴンされてりゅっ♡ おあっ♡ ぎもちいい♡ いい♡ おっ、おうっ、んほう♡」

「んんんんんっ……♡ はあ♡ らめ、らめらめらめ♡ これらめです♡ んああっ♡ おなかの♡ 奥から♡ 痙攣すりゅ♡ ほんとに壊れりゅっ♡ お、おう、おごっ、うあっ、あああっ……！」

//SE:潮吹き

「んううううううううう……♡」

「は、はひ……はあ、あ、はあ……はあ……潮、吹いちゃい……ましたあ……」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「んぐうっ！？♡」

「あっ♡ 突き上げないで♡ まだらめ♡ 潮吹きアクメしたばかり……おうっ♡ あへえ♡ ああっ♡ んうっ♡ ああああっ♡」

「ふんっ♡ おっ♡ んぐっ♡ ありえ、あたひも……腰とまんないですっ♡ なんで、なんでえ♡ はう♡ おあ♡ ああっ♡ あへ♡ ああっ♡ ああああんっ♡」

「んほお♡ おっ♡ おうっ♡ あふっ♡ わかんにやいい……んううっ……もう……おっ♡ おっ♡ おっ♡ わかんにやいでしゅう……おごっ♡ おっ♡ おおっ♡」

「あふ♡ おちんぼ♡ おちんぼきもちいい♡ それしか……もう……わかんにやいです♡ はふう♡ おまんこあげる、あげましゅう♡ あたしのおまんこ、お兄さんのものでしゅう♡ あたし、お兄さん専用オナホでいいでしゅう♡」

「だから♡ だからあ♡ 精子くだしやい♡ せーえき♡ ぴゅっぴゅって♡ 子宮に入れて♡ あたしのお腹パンパンにしてくだしやい♡」

「んううっ♡ おちんぼ当たりゅ♡ 子宮揺れてりゅっ♡ はうっ♡ あああっ♡ んうっ♡ きもちいい♡ きもち♡ おぶっ、おうっおうっ♡ 頭……おかしくなりゅ♡」

(ディープキス)

「はあ♡ はあ♡ ちゅっちゅしましよ♡ ちゅ、じゅるるるる……ぶはあっ♡ んうっ♡ また出ちゃう……！」

//SE:潮吹き

「やああああんっ！！」

「はあんっ♡ 二回も♡ 潮♡へあ？」

//水音SE:ラストスパート

「んあゝっ！！ まっで！！ むり！！ むりい！！ おっ！ おっ♡ おおっ♡」

「んうう♡ あたしたち♡ ベトベトヌルヌル♡ えっちな匂いしゅりゅう♡ おっ♡ おあゝっ♡ もっど♡ 激しい♡ おっ♡ おおおっ♡」

「おちんぼっ♡ ちんぽに精液♡ 精液ぎでるう♡ おっ♡ おうっ♡ まんご♡ ずっと痙攣してる♡ まんご壊れた♡ おっ♡ 子宮が精液.....精液待ってるう♡」

「精液出しでえ♡ 好き♡ 好き♡ 好き♡ お兄さん大好き♡」

「いい！！ あああっ！！ そのまま出しで♡ 子宮口ごじあげで♡ ざーめんいれて♡ はらませセックスして♡ あっ♡ ああっ♡ わがる！！ もう精液くる、くりゅう♡ あだじ、また、またイグ、おっ、おああっ、イグイグイグう.....！！」

(絶頂)

「あああああああああああああっ！！ んぐっ！！ んんんっ、ああああああああああああっ！！」

「け、痙攣止まんない.....！！ おあっ！！ 精液来て、りゅうう.....！！ ああああっ！！精液濃い、重すぎて.....♡子宮膨らむうっ！ ああっ、妊娠しちゃいますうっ.....♡」

「はあ.....はあ.....んあ.....ん.....」

//水音SE:ゆっくり動く

「さ、さすがに.....もう、空っぽみたいですわね.....あたしも.....もう.....げ、限界.....です.....」

//SE:水音終了

SE:どさっと横になる音

「ふふっ.....さいこーでした.....♡ あなたの精子♡ 濃くて元気でたっぶり.....精子もセックスもすごすぎて.....赤ちゃん出来るかと思いました♡」

「.....あ、実際にはデキないので安心して下さい。栄養として吸収してしまうので」

「はい.....だからこれからも、安心して孕ませセックス、し放題ですよ」

「.....あれ、伝わりませんか？ つまりはこういうことですよ」

(耳にキス)
「ちゅっ……」

「このまま、お兄さんとずっと一緒にいるのもいいなと思ひまして♡」

「お兄さんの的にも、その方が嬉しいですよ」

「だってロリサキュバスのおまんこを、オナホみたいに使い倒せるんですよ」

「お兄さんがしたいことも、ぜーんぶ、していいんですよ？ 人間の女には頼めないようなプレイだって……あたしは、ぜんぶ受け入れます♡」

「イラマチオとか、お外でのセックスとか……もっとマニアックなのでも……お兄さんとなら……ふふ♡」

「これでもあたし、精をつける料理なら得意なんです。家事も一通りできますし。……ね、こんな優良物件、他にいないですよ？♡」

「ふふ、焦らなくていいですよ。今日の所は一先ず帰ります。……引っ越しの準備もしないとですし♡」

「だから、次来るまでに考えておいてくださいね、お兄さん♡」